



学校だより

やさとっ子

四日市市立八郷小学校

第 32 号

令和 5年1月24日

めざす子どもの姿：かしこい子 あたたかい子 たくましい子

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

12月に実施した「令和4年度 学校評価アンケート」の結果をお知らせします。結果のグラフと数値は裏面にある通りです。

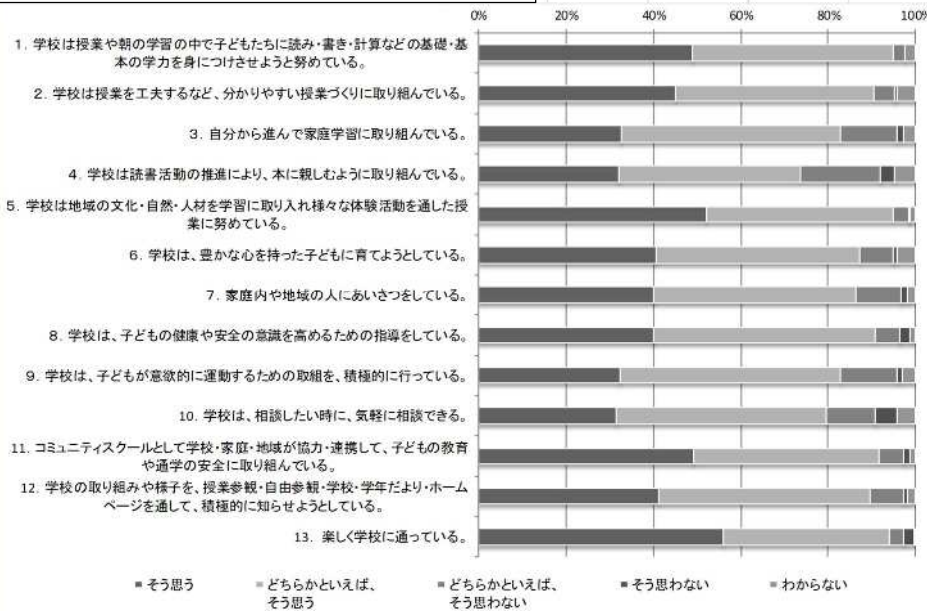
「肯定的な回答」とは、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答を合計したものです。保護者の皆様からは、肯定的な回答をたくさんいただきました。学校へのあたたかい励ましと、たいへんありがたく思っています。

この結果をしっかり受け止め、強みはさらに伸ばし、弱みは改善しながら、本年度の残りの日々、そして令和5年度の教育活動へ活かしていきます。

アンケートの結果より

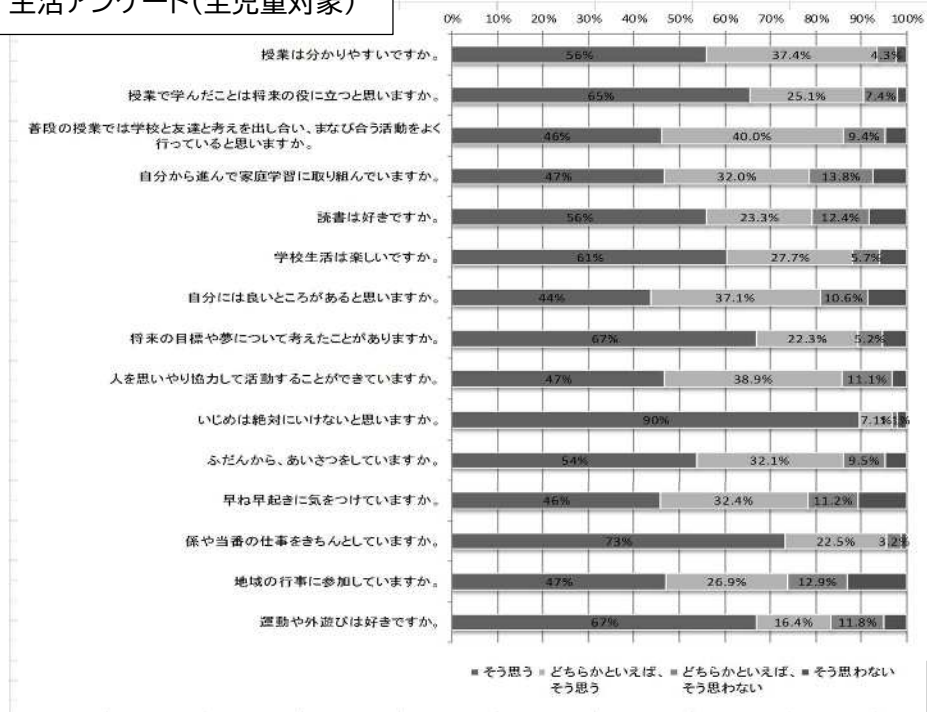
- 「1. 基礎・基本の学力を身につけさせようと努めている。」「2. 分かりやすい授業づくりに取り組んでいる。」と肯定的な回答をした保護者の方も、「授業はわかりやすい。」と肯定的な回答をした児童も90%以上ありました。学校としての根幹である「学力の定着・向上」について、今後もしっかり取り組んでいきます。
- 「5. 地域の文化・自然・人材を取り入れた授業に努めている。」「11. コミュニティスクールとして、学校・保護者・地域が連携して取り組んでいる。」と肯定的な回答をした保護者の方が90%以上ありました。「地域とともにある学校」として引き続き、協働した学校運営を行っていきます。
- 「3. 進んで家庭学習に取り組んでいる。」の肯定的回答は、保護者：83%、児童：79%となりました。家庭学習に「進んで」取り組むのはなかなか難しいのかなと思いました。
また読書活動についても、「4. 本に親しむように取り組んでいる。」（保護者：74%、児童「読書は好き」：79%）となりました。図書コーナーを設けて、図書館ボランティアさんに本を手に取りやすくなる工夫をしていただいたり、各教室などに学級文庫を設置したりして、読書環境を整えてきました。学校では、読書をする時間もありますが、家庭でも読書をする児童の姿は、あまり見られないのかもしれませんが。タブレットの持ち帰りの影響も否めません。「早ね早起きに気をつけている。」と回答した児童が78%であることも気がかりです。
あらためて、児童が自ら進んで家庭学習に取り組んだり、本に親しんだりできるようにするために、どのような手立てを講じていくのがよいか、考えていきます。
- 「13. 子どもは楽しく学校に通っている。」と肯定的な回答した保護者の方は94%でしたが、「学校生活は楽しい。」と肯定的な回答した児童は88%とやや少なく、少し心配しています。「わかる・楽しい授業」であることも大事ですが、友だちと気持ちよく過ごせることも大事です。全職員が児童一人ひとりを見守り、些細な変化やトラブルも看過せず、きめ細やかな対応をおこなっていきます。
- 「10. 学校は、相談したいときに、気軽に相談できる。」と肯定的な回答した保護者の方は80%でした。学級担任をはじめ、校長・教頭、スクールカウンセラー、養護教諭、特別支援教育コーディネーターなどに普段から気軽に相談できるような雰囲気づくりに、さらに努めていきます。
- ◎ 「コロナ禍」の3年間を過ごし、何か変化が見られるのかどうか、「コロナ禍」前のR1年の結果も含めて経年変化を見ました。
R1年と本年度を比べると、児童の「友達と考えを出し合い、まなび合う活動をよく行っている。」「あいさつをしている。」「地域行事に参加している。」という肯定的な回答が、5%下がっていました。感染拡大防止のために、制限のある状況が反映されていると思われます。
この3年間で、新型コロナウイルスの特性や感染拡大防止対策についても研究が進み、考え方や方針も変化してきています。子どもたちの安全を守りながら、状況に応じてより良い方策をとり、学校運営を行っていきます。

学校教育活動アンケート(全保護者対象)



R1の肯定的な回答	R2の肯定的な回答	R3の肯定的な回答	R4の肯定的な回答
91%	95%	95%	95%
84%	93%	91%	91%
66%	86%	86%	83%
65%	85%	83%	74%
92%	94%	97%	95%
86%	91%	89%	87%
90%	93%	89%	86%
90%	97%	93%	91%
79%	88%	89%	83%
78%	84%	81%	80%
92%	95%	94%	92%
90%	95%	94%	90%
94%	96%	95%	94%

生活アンケート(全児童対象)



R1の肯定的な回答	R2の肯定的な回答	R3の肯定的な回答	R4の肯定的な回答
96%	92%	94%	93%
96%	95%	95%	91%
91%	87%	89%	86%
81%	86%	82%	79%
76%	80%	79%	79%
91%	92%	92%	88%
81%	76%	81%	81%
89%	87%	88%	89%
89%	92%	91%	86%
100%	98%	98%	97%
92%	88%	89%	86%
79%	80%	83%	78%
95%	97%	94%	96%
79%	77%	73%	74%
81%	82%	83%	83%

*R1年のみ3年以上の児童の回答

第5回学校運営協議会(コミュニティスクール)委員会開催しました

今回は、保護者・児童の学校評価の結果から学校が自己評価したものをもとに、ご意見(学校関係者評価)をいただきました。今後の取組・次年度学校づくりビジョンに反映させていただきます。



◎図書コーナーをつくる、図書館ボランティアの読み聞かせを行うなど、読書環境を整えてもらっている。休み時間の外遊びと読書との両立が難しいと思う。

◎児童が、「いじめは絶対にいけない」と100%思っていてほしい。そう思わない児童に対するきめ細やかな対応が必要と考える。

◎あいさつを交わす姿が日常的に見られることが、地域防犯としてとても大事である。あいさつされると、注目されている、みんなの目があると感じ、犯罪抑止になるからである。また、あいさつすることで、「見てもらっている」という安心感⇒あいさつされると「うれしい」⇒「自分もあいさつしよう!」という良い循環にしていきたい。